

産業能率大学 情報マネジメント学部

国際情勢の理解	履修年次	1	
	単位	2	
石塚 浩美	配当期	前・後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要] 毎回の授業の進め方は、前回の基礎的項目の確認テストの解説(語群からの選択式)→今週のトップニュースの教員による解説→当日の講義→質疑応答、である。授業では、原則として、各国について、地理(地政学)・歴史(各国史)・経済(経済学)など社会についての数値データや日本との関係などを、解説する。また、国際情勢を机上の空論ではなく、教員がこれまで訪問した国の画像や動画などを紹介することを通じて、世界各国で現在起こっていることや、過去に起こったことを、同じ人間として身近に感じて、捉えて、考えることが望まれる。</p> <p>[担当教員の実務経験] Japan Airlines の国際線客室乗務員として世界 30 カ国 55 都市に赴き、業務に勤しむ傍ら、各地の社会文化、歴史、国際関係の実際に触れ資料収集。その後、JAL Academy にて、主に日本上場企業・自治体・米国企業の経営者や従業員に対し、顧客満足度、ビジネスマナー・Hospitality・異文化コミュニケーション研修を実施。更に、Japan Asia Airways で台湾人客室乗務員研修を担当。</p> <p>[実務経験に基づく項目] 各国画像、動画資料(該当国の回に提示)、各国事情、異文化コミュニケーションの方法等。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生および将来活躍する「人財」にとって必須の常識として、国際情勢に関心を持ち、基礎的な地理・歴史・日本との関係・経済・特徴について、解説ができる。 ・国際情勢の諸問題について、ニュースを理解し、客観的、冷静に、社会の一員として考察することができる。 ・国際情勢の理解を通じて、国内外のあらゆるダイバーシティを尊重しつつ、国際社会を他者と生きる積極的なコミュニケーション能力を身につけ、国際社会の変化に柔軟に対応することができる。 			
成績評価の方法			
<p>授業への積極的参画を伴う出席、そのための授業外学習、成果としての定期試験・提出課題・小テストの合計得点によって評価する。課題の提出は必須であり、未提出者には単位を与えない。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	・ガイダンス ・データでみる世界のなかの日本と、各国区分	8	中東・イスラム諸国
2	近代日本の歩み -明治維新・戦争・経済大国・人口減少まで-	9	中国(中華人民共和国) -歴史・現状・課題-
3	東西冷戦 -開始から終焉まで-	10	朝鮮半島 -大韓民国と北朝鮮-
4	アメリカ合衆国 -世界最大の経済規模と軍事力-	11	東南アジア(ASEAN) -各国の特徴を学ぶ-
5	ロシア連邦	12	その他の国々 (インド・ブラジル・アフリカ・南米など)
6	世界経済が動く要因 -ミクロ経済学、国際経済学、等-	13	グローバル社会を生きていくために
7	EU(ヨーロッパ連合)、シェンゲン圏、英国	14	・ガイダンス、 ・定期試験、 ・アンケート